

1. 件名：「日本原燃（株）廃棄物埋設施設の保安規定変更認可申請に関するヒアリング」
2. 日時：令和5年9月19日（火）17時00分～18時15分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 ※一部、TV会議にて実施
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
研究炉等審査部門
栗崎企画調査官、真田安全審査官、上野管理官補佐、大塚安全審査専門職、大島原子力規制専門員
日本原燃株式会社
埋設事業部 低レベル放射性廃棄物埋設センター
埋設運営部 課長 他4名
東京支社 技術部 運転管理グループリーダー
九州電力株式会社
原子力発電本部 廃止措置統括室
廃棄物運用対策グループ 課長 他1名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料
資料1 核燃料施設等の新規規制基準適合性に係る審査会合（第490回）における指摘事項への回答

参考

- ・日本原燃（株）から濃縮・埋設事業所廃棄物埋設施設に係る保安規定の変更認可申請を受理－放射能濃度に係るスケールリングファクタの新規設定等－（令和5年6月26日）
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/WAS/170000001_00008.html
- ・日本原燃（株）から濃縮・埋設事業所廃棄物埋設施設に係る保安規定の変更認可

申請を受理－廃棄物埋施設 1 号埋設設備 6 群放射エネルギー管理の変更－（令和
5 年 6 月 26 日）

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/WAS/170000001_00009.html

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	原子力規制庁の大嶋でございます。
0:00:04	そうしましたら、ただいまより、廃棄物埋設施設保安規定変更認可申請に係るヒアリングを始めたいと思います。よろしくお願いします。
0:00:16	はい、規制庁さん。
0:00:18	ちょっと内容確認、5 ページ目なんですけれども。
0:00:23	スライド等々できるんだったら、原燃さん等でしまった方がいいかもしれません。
0:00:30	原燃さん資料等できますでしょうか。
0:01:20	5 ページお願いします。
0:01:25	はい。
0:01:27	ちょっと確認したいのは、一番下のポツなんですけど。
0:01:32	2025 年、15 年度以降っていうのは、
0:01:36	レファークシャみ県政あることから、
0:01:42	燃料方からの微小な漏えいによる α 核種の影響が徐々に低下し、2014 年度までに、
0:01:51	そのほとんどが処理されたものと考えられることってこの謝意っていうのは何なんでしょうか。
0:02:09	日本原燃の佐田でございます。
0:02:13	ここの記載言葉の意味合いとしましてはですね、その燃料リークが、2012 年頃からですね 2014 年度にかけて、
0:02:25	継続して濃縮廃液のタンクのほうに落ちてきたと。ここで言っている処理というのは、途端、後段に出てくるですね廃液受け入れ 3 億の方に、
0:02:38	溜まった廃液がですね、JRは含む廃液が溜まったものが、その後のですね廃棄体製作、固形化処理の過程ですね。
0:02:48	徐々に α 核種というのが廃棄体側の方に流れていくというところで、そういった固形化処理の全体の過程を経てですね。
0:03:02	2014 年度以降は驚見処理されたと。で、言い換えるとこの処理っていうのは固形化処理といったようなところを意図して記載したものでございます。
0:03:13	はい、規制庁さんです。小なりと、
0:03:18	ちょっと私困難者 7 ページ或いは 7 ページ目開いてもらって、
0:03:28	今回この分值が追加されてきて、
0:03:30	廃液受け入れ関係。
0:03:34	の後に、
0:03:36	前処理タンクとかが出てきたんだけどこの処理っていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:40	前処理、
0:03:41	のこと。
0:03:43	ではなくて、
0:03:45	固形化処理と言突っ込む固形化処理っていうのが、
0:03:50	このポンチ絵でいうと、何、何のことなのかなっていうのを確認したかったんです。
0:04:07	先ほどでございます。この矩形化処理の処理の話というのは7ページという公益分離以降の固型化操作の方。
0:04:17	該当します。お手元のスライドでですね、20ページを、になりますけれども、こちらの方で、洗浄セメント固化体にかかるかかる固形化の流れというものを記載させていただいてございます。この中で、順を経てまずは灰セメント固化体を一本製作します。
0:04:39	そのあとは、広域分離器及び固化装置の洗浄を行います。
0:04:44	で、22ページ目で、それらの洗浄背景を改修し、スラリんと。
0:04:52	非常にしては、上澄み水は、上澄み水タンクで回収します。最後に、このバツ中ですねこのスポンサーを、
0:05:03	4回ほど繰り返す等、この機器洗浄水タンク、スライド2ページ、22ページ目と言う、左下の方にございますけれども、ここ機器洗浄水タンクの比重がですね約1.2から1.3ぐらいの比重になりますので、
0:05:19	この閾値をもって23ページにございますけれども、こちらの方で交換装置の方に洗浄廃液を実装してセメント等今年田植えと扇状青年部抗体を作ると。
0:05:34	このスライド20ページから24ページ、23ページまでの一連の、
0:05:41	経過処理というふうに、
0:05:43	いう位置付けで記載してございます。わかりました。議長さんは以上でございます。はい。
0:05:51	上間委員。
0:05:58	2020、15年度以降は、
0:06:04	事実そしてある川見県政後経過処理されましたっていう話で、
0:06:11	了解なんですけれども、
0:06:13	もし仮に2、
0:06:19	それでもなお、今後スケーリングファクターの辺継続変更が不要であると言い切れるのか。
0:06:30	固形化処理によって完全に、
0:06:37	あれは私の影響が、もう完全に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:43	低下するよう処理され尽くしたのかって聞かれたら、どのように該当するでしょうか。
0:07:25	4号のサキノでございます。はい。真田さんのおっしゃられる通りに、我々としては2015年度以降の分析値から推測するに、 α 核種を含んだ廃棄物の処理はほぼ完了している。
0:07:40	処理がほとんど終わったんだらうというふうには認識してございますが、それは定量的にもう今後出ないということの、裏付けにはなりませんというのが正直なところでございます。
0:07:53	とはいうもののですね、当然そのSF継続を、年度ごとに継続申請確認をして参りますので、その中できちんと必要な情報を取捨選択し、それらのロジック性をかんがみて、
0:08:08	きちっと整理して判断していくものというふうには認識してございます。
0:08:14	はい、規制庁さん。
0:08:16	そういう回答なんだろうなと思ひまして、
0:08:23	もし会合とかですれどもその下、仮に大筋了解いたしましたということで、
0:08:29	今後
0:08:34	とは全部こういう事象があった船津なものですから
0:08:38	今後、処理終わったということ処理によって全部低下したということだけれども、
0:08:51	またスケーリングファクターが継続使用できないような事象が、
0:08:56	100%、その金を性が否定されたとも言い切れないので相違。
0:09:03	そう。そういったことも見越してどういう措置が講じられるんですかって聞くとおそらく田部井原燃さん今回答されたように、我々としては
0:09:14	こういう資料を作って、
0:09:17	スケーリングファクターの継続使用は、ないとかってというのは、確認はしますけれども今後、
0:09:23	スケールファクターの継続。
0:09:28	できるのかどうかってというのはもう従前やられてることでしょけれど、そのスキームをしっかりとまわして、今後もやって参りますってというような回答を終えられたと思ひますけれど、何でその、
0:09:42	今までやられていたことをしっかりとやる。
0:09:48	今後、今までやってたことは、
0:09:53	大津だけ怪文書に書かれてることなので、その原燃さんとしてもその自由に書き換えたりとかってのはできると思うんですけど。
0:10:01	そういったことをすることはなく、しっかりとやりて認識しましたけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:07	そういったことですかね。
0:10:09	要するに
0:10:11	玄海発電所においては、扇状効果たいの。
0:10:17	燃料リークに至らない軽微なものであっても、スケーリングファクターを逸脱するっ てというような事象があったもんですから。
0:10:25	今後何かスケーリングファクターの見直し、
0:10:29	について合理化することができ、やろうと思えばやるんでやるんでしょうけど。
0:10:36	ちゃんとこういった事情も留意して、今後適切に今後スケーリングファクター継続。
0:10:45	継続設定ってのはまわしていくってことなのかなっていう。
0:10:48	ことかと思いましたが。
0:10:51	その理解でよろしいでしょうか。携わりましたでしょうか。
0:10:57	どうぞ。
0:10:59	今回のですね、全 α の事象をこういったところ法令すっぱり下げていきますと、今 後ですね、特にこの9電さんのこの事象については、
0:11:13	今後は一体、これ事象を受けての考慮すべき視点っていうのが、
0:11:22	我々としても認識したところではあるので、当然ながらその従来のスケールファク ターの継続評価、こういったところの考え方は、大前提とした上でですね。
0:11:35	津川さんは考慮して見ていくというところが、今後の対応かなというふうにとらえて おります。以上です。
0:11:47	ここは大丈夫ですかね。
0:11:50	特に、
0:11:52	じゃあ次行きますか。
0:12:01	7ページ目のスライド行っていただいて、
0:12:08	この技術のところの廃液敬礼タンクの廃液は、
0:12:14	前処理されるが、
0:12:16	過去の処理席から1週31から3週間程度要するこれってなんな、どういう意味な んですか。
0:12:45	江藤人間の差でございます。ですね、7ページ目のですね、この1から3年間と いうところのお話と、この廃液は前処理されるのかというところについては、
0:12:58	この下段のポンチ絵のところのですね具体的に言いますと、及び濃縮液タンクの ところから、右に入れて参りタンク、こういったところの範囲の流れ。
0:13:12	についてのことを前処理というふうにとずっと言葉で整理しておりました。で、この 処理の期間については、過去の処理実績を調べてみますと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:25	1週間程度であったり、3週間程度かかる場合であったりといったような期間ということで、ここはちょっと後段のところの情報には直接リンクするものではないんですけども。
0:13:37	我々も今回のですね事実関係を整理していく中で、確認した情報として参考的にですね、
0:13:48	記載させていただいたものでございます。
0:13:51	以上です。はい、わかりました。
0:13:56	次、16ページ目なんですけれども。
0:14:01	これ、
0:14:03	後づけ、報告しましたけど、
0:14:07	青島尾田です。
0:14:11	前会議終わった後にですねちょっと追加でご質問させていただいた、タンクBの
0:14:23	原料の軽微な軸の、
0:14:25	ITの立ち上がりの部分について、
0:14:28	本当にそうなんでしょう医長が拾えているのが拾えてないのかっていうところを質問させていただいて、多分、このスライドで言うと多分13ページを
0:14:43	にその部分を追加していただいたのかなと思うんですけどちょっとここ、もう一度、どういってお考えでご説明いただく予定か、ご説明いただいてもよろしいですか。
0:15:02	違う人間の差でございます。
0:15:06	ですねこのスライドの13ページ目になりますけども、前回ご質問いただいたところを踏まえて少し記載しておるんですけども、我々としてもですねこの廃棄受入タンクBの2011年度、この部分については、
0:15:24	影響が本当にあるあつたのかなかったのかっていったところを、いろいろとですね、情報をですね整理をした、しております。
0:15:36	その中で、まず事実関係としましては、この2011年度を赤で、
0:15:42	赤表示をしてございます。この28立米といったところですね、ここはタンクビール系れた時期というのが、1月から6月にかけてというところの期間でございます。
0:15:55	その前段で2010年度の12月9日に、軽微な漏えい、微少な例、漏えいがあったということと、
0:16:04	13ページ目のですねポツ目にもちょっと推定として書かせていただいておりますけども。
0:16:12	先ほどのなら、スライドの7ページ目のところで表を、
0:16:19	見せておりました通り、やはりその配給計画に沿うまでにまずはその2ヶ月程度のタイムラグがあるというところが見てくれるので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:29	ほぼ、まず 28 立米、1 月から 6 月の間で、大体その 2 ヶ月程度のタイムラグを重ね合わせた場合に、
0:16:40	この中で実際
0:16:44	赤の吹き出しでちょっと矢印とともに、追加情報入れてございますけども。
0:16:50	この 1 月から 6 月のさらに細分化しますと、まずは 11 年 1 月までは 10 立米程度、タンクBに落ちてきてるというところが実績でわかっております。
0:17:01	そうするとこのタイムラグを重ねれば、少なくともいえることとしましては、推定にはなりますが、この 10 立米というところは、影響を受けたはい。
0:17:13	ではないという可能性があるというところを推定として言います。
0:17:18	ただしその残りのですね 28 立米中の 18 立米はどうかといったところについては、これタンクBに入れた時期っていうのは、2011 年 3 月以降、3 月から 6 月にかけて受け入れていると。
0:17:34	いう実績がございますので、この 18 立米についてはどうなのかといったところ、我々の中でもいろいろちょっと状況をKakehiをしたところではあるんですけども。
0:17:46	現状と、実態としましては、この廃液のこの 18 流の影響っていうのは不明ではあるというところになります。これが実態でございます。
0:17:57	しかしながらですね、2011 年度、案 9 それからタンクB全体としてですね、我々としては、当時、
0:18:09	廃棄体の燃料を代表する資料の選定といったところの中で線量の情報をもとに選定してきたわけなんですけども。
0:18:20	その情報を元にタンク雁首含めてですね、廃棄体を選定し、その結果スケールングファクターのケーブルを確認をしているということで、
0:18:33	結果としてこの 2011 年度のパンク日のところについても、我々としては問題ないものと考えていると、そういったような整理をいたしました。
0:18:46	以上です。
0:18:49	仙頭神保です。
0:18:52	そうすると、
0:18:54	ここ 33 のうち、半分程度は、
0:19:00	その 2 ヶ月とかのタイムラグを踏まえると影響はないんじゃないかと。で、残り半分。
0:19:06	50%ぐらいについては、どこまで影響が出る、出てるかわからないという、まずはそういった沿って設計をされていって、
0:19:15	かつ、代表サンプルについては、
0:19:20	2011 年上田は 1 回、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:27	は 1 回すべてから、
0:19:33	対象サンプルを選定していて、その 3 所、選定された分析結果では、スケーリング ファクター。
0:19:45	もう継続使用できる。
0:19:47	というような判断をされたということ。
0:19:50	ですね、当然この 13 ページの、2009 年 30 から 12 月 9 日に出た、
0:20:01	この期間の、
0:20:04	その日サンプルっていうのも、
0:20:08	もちろんこの賠償資料の選定の中には含まれてるということによろしいんでしょ うか。
0:20:16	いくつかいくつか。
0:20:24	既往値の差でございます。直接的にですねこの 13 ページ目の 9 月から 12 月の 29 立米、ここの処理した廃液が、結果として廃棄体ですね
0:20:40	2011 年度を代表した、廃棄体を処理した配置とは同一ではないんですけども、 2011 年度として見れば、
0:20:51	教育の処理廃液等、タンクBの処理廃液、全体としてみれば代表した廃液を取 ったというふうに、
0:21:01	いえるというふうに考えてございます。
0:21:29	規制庁の島です。すいません。所。
0:21:34	配置民が出てくる台風っていうのは、
0:21:41	定期的に濃縮部にかけていけば、
0:21:46	定期的に何本かの一本何本か日本っていう震度で出てくるわけではないんです たっけ。
0:22:04	要は次、10 ページの講師、
0:22:10	一番にですね 10k時ノーツのグラフの下にフィード三角矢印で代表飼料の廃液処 理ってこう三角が 5 分ってあると思うんですけど。
0:22:21	やっぱりこのタイミングで、
0:22:24	出てきたは 1 回しか、
0:22:28	対象サンプル。
0:22:31	には出てこないということなんですか。
0:22:45	現在の差でございます。
0:22:48	少しですね、19 ページ目のスライドで、補足をさせてください。1 系統を 19 のスラ イドでですね、今線量物を表示してございますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:03	ここですわね 2011 年度のところを見ていただきますと、いくつかですわね線量のプロットがございます。
0:23:14	基本的な見方としては、左側から右にかけてですわね、
0:23:22	濃縮排気が作られて洗浄して洗浄、セメント固化体が発生するというタイミングを示しているんですけども、この 2011 年度の中で、
0:23:35	このプロットの中には、実際にはタンクから作られた扇状セメント固化体もありますし、
0:23:45	タンクBから、作られた洗浄セメント固化体も含まれているというところがございます。その上で、最終的には、その年度を代表する考え方として、
0:23:58	線量を分のですわね廃棄体をですわね、選定した結果、この 2011 年度の黒須さん、三角矢印のところを代表した廃棄体というのが、
0:24:14	結果としてタンクから処理されて製作された扇状セメント固化体になったというところでございますし、
0:24:27	オオシマオオシマですわね、そういうことで全体なるほど。
0:24:32	そうすると、
0:24:35	そうですね。
0:24:38	このシクロンと三角で示されているものはあくまで、その年度内に出てきた廃棄体の中で周知された位置。
0:24:51	本当に大庄の資料であって、ここあたりで、継続者は評価していると。ただ、その下には、選定。
0:25:01	される前に幾つかのサンプルがあって、それはこの 10 ページで言うと、
0:25:07	4 月 10、4 月 19 日から 6 月 5 日の処理で発生した廃棄体もちろん含まれてますし、
0:25:17	13 ページで言いますと、
0:25:22	影響が出て伝え影響はどれだけあるかわからないけれども出てきて、例えばあろう、この 9 月 30 から 12 月 9 日、
0:25:35	処理された、配置対応の、そのサンプル選定の中では、含まれていると、そういうことって間違いないですかね。
0:25:49	メルアド澤でございます。その理解で間違いございません。
0:25:53	以上です。はい、わかりました。
0:26:01	じゃちょっと聞きたいと思います。
0:26:04	注目件名規制庁サナダですけど、その下の算術平均による設定の妥当性。
0:26:13	この 2 本がちょっと全然わからなかったんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:20	算術平均値 0.36 を用いた場合単年度ではヒヒョウシュウになる可能性があるところ はわかったんですけど、しかしながら、降雨が、
0:26:31	ちょっと全く内容がわからなかったんですけど、ちょっと解説してもらえますか。
0:26:53	はい。日本原燃のサキノでございます。こちらの方は 1 ポツ目の方はご理解 いただいたということで、しかしながらのところからご説明させていただきますと、
0:27:04	2012 年度七本、2013 年度発行 2014 年で 8 本というふうに、発生扇状発生件数 がございますけれども、
0:27:14	それらの代表の、
0:27:18	とですね。
0:27:20	それがここでは出てこないんだな。28 日の審査会合でご説明させていた。
0:27:28	大体資料には含まれておるんですが、数値を扱ってる数値としては、ほとんどばら つきの小さい数字でもって、SAFを扱ってますっていうのがまず一つあります。単 純にですねこのまた算術平均を用いた場合と各年度の各種比を用いた場合の黄 砂の評価では、
0:27:48	っていうところのくだりですが、こちらの方はですね 2012 年度を一番保守側のス ケーリングファクター。
0:27:57	1.0 っていう計算をし、した場合とそれ、3 カ年をすべてコンマ 36 の、算術平均値を 用いて、放射エネルギーを出してそれを総放射エネルギーとした場合について、
0:28:11	単年度で評価するよりも 3 カ年に算術平均コンマ 36 で、総放射エネルギーの計算をした 方が、舗装放射エネルギーとしては保守側になると。
0:28:21	一体への記載でございます。
0:28:24	簡単ですが、以上でございますと。
0:28:27	今言ったのは、0.36。
0:28:30	で、
0:28:32	2010 年度 0.36 で、
0:28:35	2013 年度 20036. 2014 年度やって、
0:28:40	全部足したものが、総放射エネルギーということですか。
0:28:49	はい。5 件のサキノでございます。はいあとはアッセホースですねはいそれらを全 部かけ合わせて足してあげると、総放射エネルギーでの手順が行われます。それを単年度 で例えば 2017。
0:29:03	12 年ですと、各種比でいくと、大体コンマ 95 で 2013 年度はここに資料ございませ んけれども、確か金バーの傾向だった、小。
0:29:15	昆は 3、2 とか多分そんな。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:18	数だったと思うんですけども、要は、単年度 2012 年度の 2012 年度SF2013 年度は 2013 年度ですね個別に計算してあげて、それを足し合わせて総放射エネルギーよりも、
0:29:31	2010、1034 年までをすべてコンマ 36 で計算した方が、総放射エネルギーとしては、高見上松保科ん出ますということ、ちょっとわかりにくいんですが、そういった趣旨のことを書かせていただいているということでございます。
0:29:47	算術平均値を用いた場合と、
0:29:51	改定の数の 0.36 を使って、2012 年と 2013 年と。
0:30:00	2014 年を出して総放射エネルギーを出したものを。
0:30:04	各年度の核種比を用いた場合のって書いてるのが今口頭で言った。
0:30:10	2010 年だと 0.9 を、
0:30:13	掛ける 7 本で 2013 年度と 0.65 × 8 本で 2014 年度はちょっと何ぼだかわかんないですけど。
0:30:22	掛ける 8 本で足した総放射エネルギーは算術平均値の方が大きくなりましたってことですか。
0:30:31	佐田さん、補足させていただきたいんですがその要望の項目警部私が申し上げたのは、ちょっとろ覚えで申し訳ありませんでした正確には 2012 年度はコンマ 65 ですか。こんな 65。
0:30:47	2013 年度は、各種日がコンマ日です。日は 2014 年度が、
0:30:55	コンマ 2 になります。
0:31:01	独法欠席を使って、一つ排気塔排風を総放射エネルギー、2012 年ですと、七本、コンマ 6 秒でっていう。
0:31:12	掛け金をしてあげて重宝した伸びを出す。また 2013 年度のコンマ 1 の、
0:31:19	2014 年度はこんなにも発泡し、
0:31:24	というのも、昨年でも、ほう素濃度出してあげて、それを全部足し合わせたのが宗 3 ヶ年総放射エネルギーになります。
0:31:33	青田由井よりも、2012 年度 13 年度 14 年度すべてコンマ 3 ブックで計算した方が、赤で見ます。
0:31:41	いうことで、
0:31:43	そのまま、申し訳ないです。わかりにくくて申し訳ございません。お願いいたします。はい。堤です。
0:31:58	年度のばらつきは小さいこと。
0:32:02	ていうのは、どう捉えればいいのかそう。もし、年度のばらつきが大きいんだとすれば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:12	と。
0:32:16	まずいんでしたっけ。
0:32:23	ばらつきが小さいのはいいことだと思うんですけど。
0:32:27	質問。はい。日本原燃のサキノでございます。
0:32:31	別に出してきたんですけどこのばらつきっていうのは発生本数のこと。はい。示唆してございますので、ご覧の 305 本間ニチコン 0 の話ではなくて、SAF 自体には多少ばらつきはあるものの、
0:32:46	発生する発生本数ほぼ横ばいなんです、あまり総放射エネルギーには極端に影響しないという意味で、ばらつきは小さいと。
0:32:58	ごとの趣旨で書かせていただきます。以上です。
0:33:04	いや 2010 年度が例えば 100 本でしたとかいう話になっちゃうと、
0:33:09	あれですね。
0:33:12	本当に算術平均でいいのかっていう話になっちゃうからっていうそういうことですか。
0:33:19	はい。日本原燃のサキノでございます。はい。真田さんの危惧されているという通りおっしゃる通りで、極端に 2012 が例えば扇状の 1 本あって 2013 年度の日本、
0:33:30	2014 年度が、例えば 13 本とかってなるとばらつきが大分出てしまうので、双方さんの理由としても、これで合わせば、今回 7 本 8 本 8 本なんでほぼバラつきがない状態で、一番
0:33:43	舗装放射エネルギーの計算に効いてくる本数割合が、ほぼばらつきが小さいということを加味すれば、33 平均を用いたことも、全く見受けることなのかなというふうに考えてございます。以上でございます。
0:33:57	ちょっと待ってもらえますか。
0:35:27	規制庁さん、わかりました。
0:35:30	もう白水としては了解なんです、ちょっとそこは会合でも少し、
0:35:37	よりお互いの理解を深めるという意味で、何かやりとりをさせてもらう。
0:35:43	思いますけどその時にちゃんと回答できるように、
0:35:46	しといてもらえればと思いますけど、対応できますでしょうか。
0:35:51	はい。宮城委員、サキノでございます。はい、承知いたしました。以上です。
0:35:58	いたしました。
0:36:04	あと 30 ページ面整。
0:36:14	で、これはちょっと今回の面談を効率的に進めるという趣旨で事前にちょっと連絡をさせていただいた話と関連しますけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:26	ちょっと面談を効率的に進めるために事前にちょっとお伝えさせていただいてますけど。
0:36:35	ちょっと今回の
0:36:39	へん。
0:36:40	今回なぜこの申請がされたのか。
0:36:44	ていうのがまさにその、
0:36:47	全 α と精神 137 のスケーリングファクターが従来に対して適用範囲を外れていたからです。
0:36:56	従って申請がされてきました。
0:36:59	ていうことなんですけど、じゃあ具体的にどう外れていたのかって言うのが、
0:37:05	所々説明されていたりはするんですけど。
0:37:10	ちょっとちゃんと説明されていないとっていて、
0:37:15	おそらく国者の理解は、
0:37:19	この赤線。
0:37:21	α 核種 10 倍超過。
0:37:24	2012 年度等 2013 年度と 2015 年度が、
0:37:29	一体どういう数字であったのか、何倍だったのか。
0:37:34	定数事務。
0:37:36	ないと思いますし、
0:37:38	そのすぐ下でございますけれども、すみません最後までご説明していただくのが申し訳ないと思って途中から挟んでしまったんですがコアからのご質問は、我々状況のトヤリベ経由で、
0:37:52	認識してございます。すいません、資料を直してございまして、ちょっと我々の事務局との手続きのちょっとちょっと。
0:38:03	ミスマッチがございまして、資料としては実は今日お出しできる状態で実は担保が出たんですね。わかりました。はい。で、8 月 28 日の審査会合での資料、
0:38:16	コメントということで、8 月 28 日の審査会の資料をレビジョンアップしたものの我々も同様にしております。
0:38:24	ありがとうございます。済みだったんですけどもちょっと手違いで反映されてないということがございましたので、ちょっと東京支社のトヤリベを経由してですね個別に作った資料でございますので、そちらをちょっと真田さんの方に送らせていただいておりますね、ちょっと中身を、
0:38:43	見ていただいてコメントの趣旨に沿った形で回答できるのかっていうのをご確認いただきたいなというふうに思っております。そうなんだとそれと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:53	こうさせていただきますと、まず、
0:38:59	面談を効率的に進めるためにちょっと事前にお伝えさせていただいた内容は、ちょっとヒアリングでもちょっと改めてしっかりちょっと今公園に発言したいと思いますので、聞いてもらいたいと思います。
0:39:11	資料も直されてることなので、それはもうちょっと介護資料を、
0:39:19	受理するデットラインはあるオオシマさん言ったんだっけ。
0:39:24	違う。
0:39:26	今週末なのでそれまでに、いくつか事務局でいろいろやりとりがあると思いますので、その中で調整するという形にしたいと思います。
0:39:37	基本的には資料反映さされてることなんで何かこちらから修正してくださいとかそういう話は来ないので、淡々と受け付けたいと思いますけど。
0:39:47	ちょっとその審査会合資料のリビジョン版という形で、会合に行って提示してもらってという。
0:39:56	本テキストで資料を受け取りたいと思います。
0:40:00	ちょっと形式的に発言させていただきますけど。
0:40:04	なのでその、
0:40:08	スケーリングファクター。
0:40:10	2010年度で人0よりいく試算だとすると2010年度の情報も要るんじゃないかと思えますけど。
0:40:17	2010年度、2011年の2010年度2013年度2014年度、2015年度201506年度の、
0:40:25	放射能濃度がどれだけで、設備の放射能の通りだけで、スケーリングファクターどれだけで、スケーリングファクターは、
0:40:32	何倍か。
0:40:35	全 α と精神はどう測ったのか、赤線と青線の違いは何なのか。
0:40:41	赤線は各種比で青線は各種限界値ってことは多分NDのことだと思うんですけど。
0:40:47	各種限界値。
0:40:50	ていうのは一体何なんなのか。
0:40:53	で、
0:40:54	青線の10倍超えたってことならしいので10倍を超えた。
0:41:00	ていうのは具体的にどういう数字になったのか。
0:41:04	で、燃料損傷がないって判断だったんだけど、燃料損傷がないとした判断の根拠は一体何なのかってこれ数字であるはずなので、
0:41:16	出してもらって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:18	という話ですよ。今までの濃縮廃液側の資料っていうのも、
0:41:24	2010年、2年度から2014年度だけっていうことだったんですけど他の。
0:41:29	2010年度から2016年度までちゃんと説明してもらえると。
0:41:35	2010年度から2016年度までそれぞれスケーリングファクターが、
0:41:40	大鹿駅側変更する必要がないと。
0:41:44	汀線条項硬い側こういうEで選考する必要がある点は数字ではありますと、あとは、
0:41:59	もうこれはちょっと反映されてると思いますけどね1号、
0:42:04	1群から6限までの、
0:42:07	不可欠相反能力が十分下回っておりっていう数字の根拠が、見たら、1%から70%とかがあったんで、ちょっとそれも今日何なのかなってちょっと聞こうと思ったんですけど。
0:42:19	一応反映されていると思いましたと。
0:42:22	あと2個許可整合の
0:42:29	我々もちょっと審査書書くときに、許可と整合しているって書くんですけど、今回許可と整合してないんで、その添付整合してないんで、許可整合の書き方工夫しないといけないなと思ってんですけど。
0:42:43	そこですすね
0:42:46	やはり
0:42:48	また、事業変更許可、括弧本部における外部放射線に係る線量の制限を考慮しながら、廃棄体を提示することについては線量評価値に寄与する廃棄体の表面線量当量率の変更を行っていないことから、
0:43:01	線量低減への影響はなく事業変更許可申請書等、
0:43:06	保安規定の記載とそごはない。
0:43:08	っていうところがちょっとよくわかんなかったんで教えていただきたいということですよ。
0:43:14	ちょっと直さ、一番最初のこの図の説明は直ったと思うんですけど。
0:43:20	ちょっと最後の許可整合のってどうどういう意味なんかこうさせていただいていいですか。
0:43:31	日本原燃の戸澤でございます。最後の
0:43:36	許可整合のところの、
0:43:39	説明をいたしますが、ちょっと言葉足らずだったのかもしれませんがけれども、もともと申請書の方で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:50	本文の方では外部放射線に係る線量の低減を考慮しながら廃棄体を定置するという記載をしています。ただ今回の、
0:44:02	放射エネルギーの変更はですね、表面線量率を変えるものではございませんで、例えば今、許可で記載しております。
0:44:15	外部放射線に係る線量の低減を考慮しながら、併記することについては、特に、
0:44:22	影響がないというそれを何か変更するっていうものではないということで、許可と整合しているというふうな整理しておりますちょっと日本語がわかりにくかったかもしれませんが、今回の放射エネルギーの変更自体は外部放射線、
0:44:40	に係るものは変わらないということで、本文、
0:44:44	言わな何ら影響がないという整理でございます。以上です。
0:44:51	わかりましたけれど、わかりました。
0:45:14	事業変更許可で借りてるその掛け血放射エネルギー。
0:45:20	許可で縛ってるものの範囲内で変更するので整合している。
0:45:24	ていうのは確認したって書こうかなと思うんですけど。
0:45:28	もう1個の、これから
0:45:33	今回、
0:45:36	企画別放射エネルギーを変えるので、
0:45:40	全カーボンフォーティーン分ちょっと濃いやつも入れるかもしれないんだけど、
0:45:46	澤されと。
0:45:51	許可で縛ってる。
0:45:55	廃棄体の表面線量当量率を、回るようなものではないと言ってるんでしょうか。
0:46:14	ウエノコザワでございます。
0:46:17	廃棄体の表面線量当量率につきましては、最大 12 着っていうのは変更しておりませんで、そこは、
0:46:29	変わらない、何も変えてないということになりますので、あえて、そういう意味ですと、外部放射線に係る線量低減を考慮しながら提示するという、ところについてはあえて触れる必要はない。
0:46:44	かもしれませんので、
0:46:46	越波によってはこの記載は、
0:46:49	削除の方がよろしい。
0:46:52	だと思います。
0:46:54	ちょっと誤解を招くっていうか、一つに、今回何も変更しないところについてちょっと記載をしておりますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:03	今回はあくまで放射能量、
0:47:06	の変更、変更といっても格別放射能量は、のトータルを変えてないということになりますその点だけ、整合しているということの確認でよろしいかと思います。以上です。
0:47:20	でも、先方が行ってないって書いてるから行っちゃみたいな。
0:47:27	わかりました。はい。
0:47:33	へえ。
0:47:36	ちょっとさっき戻っちゃうので、十分下回っておりの数gさっきスライド出されましたけど、
0:47:42	これってどういう意味なんですか。
0:47:45	1%から 70%っていう意味がわからなかったんですけど、これはど、どういうことなんでしょうか。さ、39 ページ目ですか。
0:47:56	日本原燃の戸澤でございます。
0:47:59	前半の文章はですね特にカーボンに限らず全核種がどういう状況かということで、幅で記載いたしました。
0:48:10	ですので
0:48:12	1号の場合ですと、自由に、各種あるファー演奏含める順に各社あるんですけども
0:48:20	埋設状況として、1%、1%から 70%。
0:48:27	いうふうに記載しました。そのあとに、川部。
0:48:30	小口に特化した記載ということで若干は格別放射能に対して何%かっているのを記載して整理して、ちょっと
0:48:42	ですので 1 から 70 っていうのはすべての核種のことを書いておまして、徳田恒川っていうことで記載してございます。この 39 ページの 1 から 70。
0:48:57	舞台は、
0:48:59	今まで審査資料で出されてたんでしたっけ出されたような気もしたんですけど。
0:49:06	日本、日本原燃の岡沢でございます。一応補足説明資料の方に、一覧表として、
0:49:13	各核種の 1 分から 6 分までの放射能量の実績を整理したものは、についてお出ししてございます。はい。
0:49:24	了解でございます。
0:49:26	じゃ最後に、ちょっともう 1 回確認なんですけどその 37 ページ目の、
0:49:34	補正案なんですけど。
0:49:36	ちょっと、前も聞いたんですけど
0:49:40	格別を削除した理由は何、何だったんでしょうか。
0:49:48	日本原燃の戸澤でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:53	格別放射能量、
0:49:55	と言いますと一部、1号に関しましては1から6群と、あと七、八群。
0:50:01	ということで設定してるんですが、
0:50:06	もともと書いてある区画別放射能量てか、
0:50:12	ところがですね。
0:50:14	それぞれ各群の、
0:50:17	各群別の放射能量というふうに誤解を、
0:50:20	生じる可能性がありましたので、そこは記載を、
0:50:27	格別っていう記載は、削除させていただきました。あくまで、特別放射能等は1から6文を、
0:50:36	合計の放射能量ということでそこは最初の、
0:50:43	一条のところ、
0:50:49	あの区画別放射能量ということで、これは申請書に書いてある、
0:50:54	1-6の区画別放射能量ということでここはだけに記載をさせていただいてそれ以降出てくる。
0:51:02	ところが、ちょっと群の放射能量的に誤解されないように、削除させていただきます。
0:51:11	院長規制庁さちちゃんとあれですか。
0:51:14	一元化等け君の。
0:51:17	区画別放射能量と書くと、人によっては、1限の区画別放射能量に元の区画別放射能量3件の、
0:51:28	企画別放射能量と誤解をするからってということでしょうか。
0:51:36	大日本原燃の戸澤でございます。
0:51:40	誤解される恐れがあるということで、岡委員のないようにということで記載は削除させていただきました。ありがとうございました。
0:51:50	等は、
0:51:53	ちょっとこれは中でも相談しようと思いますけど
0:51:59	新規対象兵頭。
0:52:02	備考欄にはその9掛け別を除いた理由とかを書くんですか。
0:52:14	日本原燃の戸澤でございます。記載の適正化の範疇だと思いますが、その削除した理由は記載させていただきます。わかりました。
0:52:26	削除は全然構わないと思うんですけど。
0:52:29	うちも会合でそうなんですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:32	コード話とか出てなかったんでその何で変更したんですかっていう話をやりとりして、多分今、
0:52:40	フワットような回答がいられると思うので、ちゃんとそういったことがわかるように、
0:52:44	変更の理由とか新旧の備考欄とかに、適宜書けなりしてくださいと、そういうやりとりを。
0:52:52	するのではないかと思ってですね、
0:52:57	まとめ資料ちゃんと書くとかですね。
0:53:00	それでいいんじゃないのか、いや
0:53:04	一元化 6 限まで聞か
0:53:08	強化を超えないようにやってくださいねってこれはもう会合でやりとりしたので、普通に反映されたんですねって話になってあとほかの文言で
0:53:17	本当の適正化で、
0:53:20	超えないことを追加すると仮定することを追加するっていうのは多分これは説明不要で、そんなに
0:53:28	適正化したんだなってわかるんですけど、区画別を削除した理由っていうのが多分聞かないとわかんない状態になっているので、
0:53:37	そこは明確にしてもらいたいですとか何かそういう。
0:53:41	指摘をしてそれで
0:53:44	ちょっと議事録にも残すしその進級表の備考欄にも入れてもらおうとかそういう対応。
0:53:51	をするといいんじゃないかなと、今現場では思ってますので、ちょっと中でもその対応でいいか相談したいと思います。
0:54:00	4 件目の戸澤でございます。はい承知いたしました。
0:54:06	全体は以上です。
0:54:13	はい。
0:54:19	あと廃棄物確認要領は、
0:54:23	これはその下位文書なんですけど定期的に改定とかされてるんですか。
0:54:36	廃棄物確認者スケーリングファクターを設定する。
0:54:42	名称がないのか。
0:54:44	廃棄物埋設法案規定の下部規定の抜粋っていうのがありますけど。
0:54:50	ちょっと会計のタイトルはわからないんですけど。はい。
0:54:55	公約通りに確保、続けてくださいという部分も防災でございます。廃棄体確認要領。
0:55:02	そういう名称になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:06	これは製品ヘンコウサイですか。そうですね我々のその背景確認要領には保安規定にもぶら下がっているその廃棄廃棄物経歴基準ですとか、スケーリングファクターの値、そういったところを、
0:55:22	同様に要領の方でもですねぶら下げておりますので、今回のように設定を新規制定するとすれば、今後要領を変えるということになります。あります。
0:55:35	この1個ページもおっても、31ページあるじゃないですか。
0:55:42	確認要領との関係で言うと10倍超えてるか超えてないのかが重要で下の
0:55:48	10倍超えてるときに、要因を特定するって書いてるんですけど。
0:55:53	これ確認要領でもそう書いてるんですが、要因を特定しないといけないと。うん。
0:56:02	10倍超えてれば、要因を特定してくださいね。特定を明らかにして、
0:56:09	スケーリングファクター負債設定するっていう下部要領になってるんでしょうか。
0:56:16	原電の佐藤でございます。この、今、31ページ目の何でしょう、この記載、そのまま書いているかどうかちょっと、
0:56:29	すぐに確認をしますのでお待ちください。
0:57:40	当然メインさんでございます。えっとですね先ほどの31ページ目の現状としましては、我々の下部のその海底確認要領にはですね、
0:57:53	32ページ目にある、府のですね判断フロー、このようなものが要領に記載されておりまして、例えば32ページ目の赤矢印ですね。
0:58:09	ここにその10倍超過というキーワードであったりとか新規設定するというようなキーワードがあるというふうな現状でございまして、この31ページ目に書いている、記載そのものというのは、直接的に要領では記載はございません。
0:58:26	ただ実態としては、その新規設定する上では、なぜその10倍を超えたのかといったところを、当然ながら我々としても、突き詰めていくということになりますので、
0:58:38	その言い合いも含めて、この31ページ目のところでは、要因を特定というような記載で、整理させていただいております。以上です。
0:58:51	いや、当然そのスケーリングファクター10倍超えたときに、本当に変更しないといけないものなのかって当然かけないといけないんで。
0:59:00	SAF変動3要素を確認したりとか、
0:59:04	その原因を明らかになるかどうかわからないんだけど、
0:59:09	今回は、
0:59:12	幸いにも原因は明らかになりましたけど、
0:59:15	原因はどうだったのかっていう確認をされるとは思うんですけどね。これはあれですね
0:59:24	二次文書型じゃなくて、OKん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:28	一般的にこういう対応がされていくと。
0:59:32	わかりました。この下位文書を改訂する者は誰なんでしょうか。
0:59:41	とかこの、
0:59:42	スケーリングファクター変更しても大丈夫ですよとかその下位文書を改訂する者とかいうのは、法案規定上明確になってるんでしょうか。
1:00:02	2年先でございます。真田さんの今おっしゃっていた者っていうのは、人のことをもうちょっと部署っていうかですね何とか課長とか何とか議長。
1:00:15	この仕事ですね。管理計画に容量はですね、埋設業務課長、所長の容量となります。
1:00:25	これに関しましては、当然ながら改正の都度、
1:00:31	埋設の安全委員会の中で、その改正内容になったらどうかどうかについて議論をした上で、最終的に核取の了解等も取ってですね、改正する規定でございます。いわゆる保安力、
1:00:45	保安規定の本部内での二次文書という扱いになりますね。わかりました。ありがとうございます。スケーリングファクターの数字そのものの妥当性を確認するのは、
1:00:57	情報課長ですか。
1:01:01	はい、日本原燃先ほどでございます。この廃棄体確認要領の中にですね、新規廃棄体の検討ですとかあとはSFが従来のSE部で使えない場合については、
1:01:14	これこれ云々って必要な対応を取りなさいっていうふうな取り認め取り決めがですねこのルールの中で記載がございます。それに従いまして必要な社内手続きを石津警務課長が責任を持って進めて参りますと。
1:01:29	いう通りになってございます。以上です。わかります。
1:01:32	なので結論として、
1:01:35	今回こないだの開校でちょっとスペシャルなずレアケースっていう話はあったと思うんですけど。
1:01:43	我々の規制との関係でいうと、もう怪文書の格上げでその法案性、
1:01:52	なってるわけでもないんで、
1:01:54	あとは怪文書適切に社内、
1:01:59	改定する必要があるんであれば改定してもらおうとかっていう対応ですよ。そこは特に、
1:02:06	保安規制の、
1:02:10	会議所なので本文格上げする訳してるわけでもないんで、
1:02:15	この、本当に1課

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:18	この手続きのやり方でいいのかとかその、
1:02:21	大体課金容量の過不足、こういう事案もあったんだけどこの過不足必要あるのかわからないのかとか、
1:02:28	あとこのデータ自体がいいのか悪いのかっていうのは、原燃の、
1:02:33	業務課長なり安全委員会なり核取なりか、
1:02:38	適切に判断すると。
1:02:40	いうことで適切に判断するとしているっていうところ。
1:02:45	クロームだけは
1:02:47	規制も確認しますけど、
1:02:50	そういう理解いいんですね。
1:02:55	はい。藪崎委員でございますはい。一色でございます、問題ございません。以上です。はい、わかりました。
1:03:02	今年からは以上です。
1:03:11	対応の段取り時間だけ、1時間、3回、
1:03:16	1時間だから資料は何種類用意されますか。
1:03:26	はい。泉梅野長谷部です。今回、ヒアリングについてこの資料ですね、この資料を、資料1、
1:03:34	1年3回を使おうと思ってます。これに加えて先ほど議論、議論というか、
1:03:40	通りですね、第1回の審査、1回目の審査会合でお示した資料を修正したもの、それを申請ごとに市場に資料3として計三つで、
1:03:51	審査会合の資料としたいと思ってます。ありました。
1:03:56	説明時間何分くらいだもんね。
1:03:59	イベントは、いや、引き継ぎ期間、どっかにもありますけど。
1:04:14	調整ですかね。ちょっとうちもちょっと中で時間配分を相談しますけど。
1:04:24	多分時間も限られてるので少し簡潔に、説明してくださいという話にもなると思いますので、資料としては大体了解ですのとは資料が整ったら、
1:04:38	所定の期日だ、所定の期日までにちょっと提出いただければというふうに思います。
1:04:46	以上です。
1:04:50	入沢田崎でございます。真田さんにちょっと2ケースでお伺いした場合でございます。先ほど本社のハセガワの方から、
1:05:00	勝俣さんからの追加のご質問の対応については、28日の審査会の資料をアップデートすることで、次回審査会合に出すと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:10	ああいったこと認識で、まずそれ、了解しました。承知しました。で、佐俣さんコメントの中で、そもそもスケールリングファクタ各年度はどういった値を使っていてそれに対して何倍超過しましたんですかとかでいろいろご質問あって、その対象年度はですね。
1:05:29	鈴木スタッフが 2010 年度、括弧または 2011 年度って書いてるんです。ですが、これって、2011 を危険とするのではなくて 2010 年度から変えた方がよろしかったですかね。
1:05:43	そうですね。原燃の資料を見ると 2011 年度からになってたんですけど。
1:05:49	今回、燃料リークがあったのが 2010 年度だったの、2010 年度書かなくていいの、普通にと考えると、
1:05:59	2010 年度は超過するし、変更する必要がないっていうのを確認しないといけないので、当然 2010 年度の数字そのものも、
1:06:09	確認する必要があると思ったものですから、2011 回たんですけども、結論堂々とされるんでしょうか。おっしゃる通り、燃料リークは 2010 年度、
1:06:21	秋の規定でございますので、そ 2010 年度の影響ないということの方は、非説明性としては、良いと思いますので、単純にどこまで入れましょうかというご相談だったので、これ、私も入れるべきだと思っております。
1:06:37	どうももう一つですね。すいません。2012 年度から 14 年度だけでは足りずっていうふうなのは、昔の資料のページ 10 ページ。
1:06:49	教えて欲しいところでございますけれども、ここって戦術面とか体の、ALPHA と摂取云々とその各種費のページだったと認識してるんですけども、先ほど佐田さんもおっしゃってた。
1:07:02	はいっていうふうなキーワードが出てきていたので、おそらく審査会合の一番最後のページをおっしゃってるのかなというふうに思ったんですけども、これは、
1:07:13	間違えました。
1:07:16	誤解がありましたね。
1:07:20	これは扇状セメントですね。はい。農排の変更が必要がないっていうスライドが、
1:07:26	八田柘植法案の参考で一番最後のページでございます。はい。前回のです。審査会合の。
1:07:33	そこは、2012 から 14 年度に検討してるんですね。はい。
1:07:38	そこも、
1:07:38	そうですねそういうことをおっしゃってたと思うことで
1:07:44	戦場セメントは変更がないって説明をして、かつ、農排も変更。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:51	不要であるっていうのを説明しないといけないのでそうなんだそれ操作の方は、3カ年に限定されているのでこれも一律に0、だから14ページ目ですかね。
1:08:03	前野だと、前の経過。
1:08:06	配送しますかね。はい。も、2010年度から2010、
1:08:15	6ですかね。
1:08:16	までしっかりと書いてもらう必要があるということですか。
1:08:21	はい。承知しましたはい。ありがとうございます。あとですね最後の最後ですが、28日の資料にはですね、タイムラグのお話等は、今回記載してございません。
1:08:35	基本的には真田さんからいただいたコメントによるバージョンアップっていうへ、変更だけになってございますけれども、28日の審査会合資料に今回のタイムラグの話とあって、バックフィットする必要がございますでしょうか。
1:08:50	私バックフィットしたほうがいいと思いますね。
1:08:55	いいと思います可能であれば、我々としては
1:09:01	あんまりそのすてき。
1:09:04	事項への回答で回答されてるのでいいとは思いますが
1:09:11	あれですね、数年後とか下事業者さんも過去どういう議論があったのかっていう時にまとめ資料としてちゃんとアップデートされたものが、
1:09:22	ファイナルセット版があると良いと思うので
1:09:26	任せますけどこの会合の参考資料でつけるものも、改定できるのであれば、改定した方がいいと思いますけども。
1:09:38	はい。新野サキノでございます今日ご説明した資料等重複する部分は多々ある。
1:09:47	やはり改正した方がよろしいかと思っておりますので、重複はあるもののアップデートの方させていただきたいと思っております。はい、承知いたしました。以上でございます。
1:09:58	オッケーです。
1:10:01	そうしましたら、
1:10:05	頭が全体を通して最後に確認しておくべきことのないようでしたら終了したいと思いますのですが、検査方法に問題ないでしょうか。
1:10:18	ちょっと40年ハセガワです。再確認ですがけれども、先ほど6月28日審査会合と言ってますし、27で訂正しますんで、27日の審査会合に向けての資料提出は、
1:10:32	今週の金曜日、22日。
1:10:35	データベースということで、よろしかったでしょうか。
1:10:39	はい。
1:10:42	はい、わかりました。
1:10:50	わかりました。はい。審査会合の時間は何時から、何時まで。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:56	決まっていますよね。ちょっとそれはちょっと時間、一応 15 日スタートの 1 時間を予定していたんですけどちょっと時間については、
1:11:07	ちょっと追って調整をしたいなと思っています。
1:11:12	ちょっと 1 時間ですね、ちょっと今東京事務所の人にはお話ししたんですけど。
1:11:17	ちょっとですね開始時間が 1 時間遅れる可能性が出てきてます。
1:11:23	でいいんですよね。JAL5 時から 16 じゃなくて、16 時から 17 時に変更になる可能性が極めて多額だったってしますので、
1:11:34	ちょっとその方向で検討いただければと思います。
1:11:42	はい 5 年先でございますはい、承知いたしましたして期間が決まり紙でご連絡いただければと思います。すいません。トンにて確認させていただきたいんですが先ほどの資料のご提出は 22 日ということで
1:11:57	お伺いしたんですけども、22 日の朝一という、
1:12:02	スケジュールでよろしかったですかね。
1:12:07	そうです。午前中までにいただければ、
1:12:12	もう良いもってできるかなと思います。
1:12:17	すいませんすいませんに午前中でよろしかったですかね。午前中まではいい。
1:12:22	わかりました承知いたしましたはい、ありがとうございます。以上です。
1:12:28	佐保 1 課、特にないようでしたら、ヒアリング終了したいと思います。よろしいでしょうか。
1:12:42	よろしいようでしたら、これはヒアリングの方終了したいと思います。どうもありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。